| 学校番号 | T3017 |
|---|---|

# 平成 31 年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理Ｂ | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次（後期通信） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　「新詳地理Ｂ」　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 標準高等地図－地図でよむ現代社会－（帝国書院） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身のまわりには地理情報が地図として表現されることで，社会生活の中で大いに役だてられてきたことを知ろう。
現代世界の地理的事象をとらえるための技能を身につけていこう。
生活圏の地域的特色をとらえるための技能を獲得しよう。

## 2　学習の到達目標

空間軸（地理）と時間軸（歴史）を養い、未来を切り開く英知を身につける。
身の回りの地理情報を知り、生活に役立てる。
空間的認識を持てるようにする。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地上の現象と地球上の位置についての関心や地理情報と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,捉えようとさせる。 | 自然環境（気候・風土など）と社会環境との関連をふまえて多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現させる。 | 地図や統計・画像など，諸現象に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりさせる。 | 地理の基本的な事がらを理解し，それらの知識を身につけさせる。 |
| 評価方法 | レポート作成<br>定期考査 | レポート作成<br>定期考査 | レポート作成<br>定期考査 | レポート作成<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 9・10・11月 | | 地理情報と地図<br>地図の種類とその利用<br>自然環境・資源と産業<br>人口・村落・都市、生活文化、民族・宗教 | ○<br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br> | <br><br>○<br> | <br><br><br>○ | a: 地理情報の関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b: 時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 河川がつくる山地・平野の地形に関する地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d: 生活・文化のグローバル化をめぐる諸課題についての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。 | レポート<br>定期考査 |
| 12・1・2月 | | 現代世界の諸地域<br>東・東南・南アジア<br>西・中央アジア、アフリカ<br>ヨーロッパ・ロシア<br>南北アメリカ・オセアニア | ○<br><br><br><br> | <br>○<br><br><br> | <br>○<br>○<br>○<br>○ | <br>○<br>○<br>○<br>○ | a: 世界の自然環境に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b: 世界の自然環境について，気候の影響に着目して多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 世界の国々の歩みや宗教を表す地図・統計などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d: 世界の自然環境についての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。 | レポート<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。